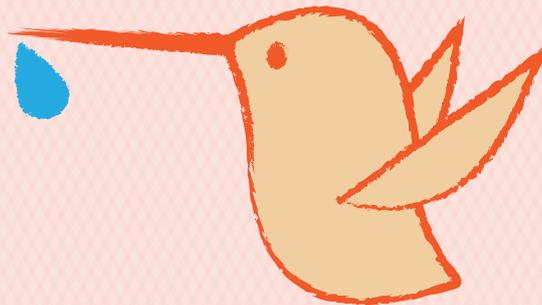


認定特定非営利活動法人

ぎふ八千ドリ基金

# 2024年度 助成事業 実施報告





小さな“しずく”が、地域の大きな力に。

## ぎふハチドリ基金とは

ぎふハチドリ基金は、市民からの寄付を原資に、困難を抱える子ども・若者・子育て家庭を地域で支える活動に助成する基金です。

制度のすき間にこぼれ落ちてしまう声をすくい上げ、支援の届きにくい人たちに寄り添う取り組みを応援しています。南米アンデスに伝わる「ハチドリのひとしずく」の物語のように、たとえ小さな力でも、思いを持ち寄ることで、地域を支える大きなうねりとなります。

2012年度の創設以来、これまでに234件、累計4,033万円の助成を実施してきました。2018年にNPO法人化し、2020年3月からは、認定NPO法人の認定を受けています。

市民による継続的な支援が、地域に根ざした実践の力となり、若い世代の未来を共に育てています。

## 2024年度ぎふハチドリ基金助成事業

2024年度も、多くの皆さまからの温かなご支援により、岐阜県内で活動する市民団体を支援することができました。本冊子では、助成を受けて活動した団体の報告を掲載しています。各団体の特色がよく表れており、活動現場のあたたかみが伝わってきます。

助成事業を通じて、寄付者の皆さまの思いが、地域の中で困難を抱える子ども・若者・子育て家庭へと確かに届いた様子をご覧ください。

### 年間スケジュール(2024年度)

- |           |                      |
|-----------|----------------------|
| ■ 募集期間    | 2024年4月1日～5月20日      |
| ■ 助成対象期間  | 2024年4月1日～2025年3月31日 |
| ■ 助成事業の決定 | 2024年6月19日           |
| ■ 採択証交付式  | 2024年6月28日           |
| ■ 実施報告    | 2025年4月10日まで         |

# ぎふハチドリ基金2024年度助成事業 募集要項（概要）

## A.事業助成（【すぽっと助成】【はじめる助成】【つづける助成】【はばたく助成】の共通事項です）

さまざまな理由から困難を抱えている子ども・若者・子育て家庭が、自分らしく安心して暮らせるよう地域で支える取組みに対して、必要な費用を助成します。

<事業助成 対象事業>

(ア) 「子どもの貧困」対策（貧困の連鎖を断ち切る）事業

(イ) 困難を抱えた子どもを支援する事業

(ウ) 困難を抱えた若者を支援する事業

(エ) 困難を抱えた子育て家庭を支援する事業

(オ) その他、子どもや若者をめぐる課題を解決するための事業

\*今までの助成事業の例…学習支援活動・居場所づくり・食事・食糧の提供・就労支援・相談活動 など

### 【すぽっと助成】 1件あたり上限10万円 最大5件程度

困難を抱える子ども・若者・子育て家庭を支援する事業に必要な費用の一部を助成します。物品の購入費や材料費など、単一の経費でも構いません。

### 【はじめる助成】 1件あたり上限30万円 最大4件程度

困難を抱える子ども・若者・子育て家庭を支援するスタート間もない事業や、これから新しく始める事業について助成します。事業の「スタート」や「やってみたい思い」を応援します。

### 【つづける助成】 1件あたり上限40万円 最大7件程度

困難を抱える子ども・若者・子育て家庭を支援する事業の継続を応援します。事業計画や予算の中に、事業継続のための取り組みを加えてください。また、組織や事業の基盤強化のために法人化や資金調達に取り組む事業も対象となります。

### 【はばたく助成】 1件あたり上限100万円以内 最大4件程度

困難を抱える子ども・若者・子育て家庭を支援する事業の活動規模（活動内容、対象者、対象地域等）を拡大する取組みを応援します。中長期（3～5年）計画がある活動を対象とします（申請と審査は単年度ごとです）。複数の団体と協働して実施することもできます。

## B.利用者負担軽減助成 1件あたり上限20万円 総額100万円程度

団体で実施している以下のような活動の利用料等を、経済的困窮家庭に対して軽減する場合、団体が負担した軽減分を補てんします。

<利用者負担軽減助成 対象事業>

(ア) ファミリー・サポート事業、学童保育事業など、子どもを預かる事業

例：①学童保育などの有料サポートを行う際、経済的な事情がある人の利用料を団体の負担で規定の金額の半額にした場合、その半額分を助成

②子育て家庭等を支援する事業に関する利用料等を助成

(イ) 困難を抱える家庭の子や若者への個別支援事業

例：①サマーキャンプなどの体験活動への参加費を助成

②学習支援や居場所等への往復の交通費や利用料金を助成

(ウ) その他、「ぎふハチドリ基金」の設立趣旨に沿った内容と思われる事業

## ■2024年度助成事業 助成結果

助成件数:全29件(昨年度から継続の助成事業3件含む)

助成総額:7,227,290円

### ■A.事業助成

- 【すぽっと助成】全6件 合計462,000円
- 【はじめる助成】全6件 合計1,584,000円
- 【つづける助成】全7件 合計2,349,000円
- 【はばたく助成】全3件 合計2,077,000円

A.事業助成のうち、14の事業は次の冠寄付金の対象です(合計334万円分)

- ☆1 たんぽぽ薬局キッズまんぷく基金(合計140,000円)
- ☆2 こくみん共済coop子ども成長基金(合計200,000円)
- ☆3 東海ろうきん未来応援寄付金(合計3,000,000円)

### ■B.利用者負担軽減助成 全4件 合計575,290円

■たんぽぽ薬局キッズまんぷく基金「こども食堂応援助成」(2023年度からの継続2年目)  
全3件 合計180,000円

## 冠寄付金について

助成金の原資は、個人や企業・団体の皆様からいただいた寄付金です。  
そのうち、期間や金額、用途を定めて、継続的にご寄付いただいているのが「冠寄付金」です。

冠寄付金	寄付者	特に応援したい事業	助成予算(総額)
東海ろうきん 未来応援寄付金	東海労働金庫	新しい挑戦や発展的な取り組みがある事業	300万円
こくみん共済coop 子ども成長基金	こくみん共済coop 岐阜推進本部	子育て家庭が地域とつながる事業	20万円
たんぽぽ薬局 キッズまんぷく基金	たんぽぽ薬局株式会社	子どもの「食」にかかわる事業	14万円

※「たんぽぽ薬局キッズまんぷく基金」からは、別途、18万円が2023年度から継続の「こども食堂応援助成」の採択事業(6万円×3団体)に助成されることが決定しています。

# A.事業助成【すぽっと助成】全6件 合計462,000円



## ① 別府子ども食堂まんまる(瑞穂市)

### 助成事業名 つくって食べる「子ども食堂」事業



#### 事業の目的

民生委員の研修で子ども食堂を見学したことで、今の子供の厳しい現実を知った。少しでも寂しい思いをしている子の居場所を作りたいと思い、子ども食堂を作ることにした。自然に子供と触れ合うには一緒に料理を作るのが良いと思い、一緒に料理をする事業にした。

#### 事業の内容と成果

料理の得意な方に講師になってもらい、教えてもらうことでカレーパン、クレープなど家庭であまり作ることのない料理に触れることができた。一緒に料理をする事で、子どもたちも包丁を使うことも上手になってきた。料理づくりでは子どもたちも緊張の連続で疲れてしまう子どもいたが、間にゲームなど体を動かす遊びを取り入れたことで、楽しみに参加してくれるようになった。

#### 参加者・対象者の様子

子どもたちは材料を混ぜたり、包丁で切るうちに包丁の扱いに慣れてきて短冊切などできるようになった。一緒に来ていた保護者同士でも会話が弾んでいた。その保護者に友達を誘ってもらえ私たちの活動も広がってきた。

#### 冠寄付者(たんぽぽ薬局)へのメッセージ

私たちではマンネリ化しやすいメニューでしたが、寄付をいただいたおかげで外部から講師をお願いすることが出来ました。講師をお願いするときも寄付金があることで気兼ねなくお願いすることが出来ました。なれないことばかりでしたが、寄付していただいたお金は心強いものでした。ありがとうございました。

#### 団体連絡先



MANMARU7888

助成額

78,000円  
(内70,000円 ☆1たんぽぽ薬局キッズまんぷく基金)

総事業額

78,000円

## ② おばあちゃんの子ども食堂西っ子(岐阜市)



### 助成事業名 子ども食堂居場所支援事業



#### 事業の目的

コロナ禍で子ども達は地域と触れ合う機会が少なくなりました。もう一度地域の人たちと一緒に楽しくてほしい、絆を深めてほしいと企画しました。

#### 事業の内容と成果

餅つき大会は今年で2回目になります。昨年に比べて今年は参加者700名を超えました。近隣の幼稚園、自治会の方、スポーツ少年団の皆さんが杵や臼を貸してくださったり、薪を沢山作ってくださったりしました。長良西の親父の会はお正月に関するクイズを作成し動画を流してくださったり、スポーツ振興の方はしめ縄の作り方を子ども達に教えて下さったりと惜しみない協力をしてくださいました。子ども達にとっては良い経験だったと思います。

#### 参加者・対象者の様子

子ども達は一生懸命杵と臼でお餅をついていました。そして自分で作ったお餅を美味しく食べていました。杵も自分で作る機会は無かったので貴重な体験だったと思います。参加者の大人の人たちは寒中子ども達の為に、子ども達のお餅つきをフォローしてくれました。

#### 冠寄付者(こくみん共済coop)へのメッセージ

ご寄付を頂きまして本当に有難うございました。心から感謝申し上げます。これからも子ども達の笑顔がたくさん見られるよう、活動を頑張りたいと思います。

#### 団体連絡先

090-2344-0060 (森川)



KODOMOTACHI24

助成額

100,000円

総事業額

100,919円

## ③ 一般社団法人PARAZA KIDS (岐南町)

### 助成事業名 医療的ケア児のための防災用ポータブル電源支援事業



#### 事業の目的

災害時に備え、医療的ケア児の命を守るためのポータブル電源を整備し、安心・安全な支援体制を構築すること。

#### 事業の内容と成果

ポータブル電源を購入させていただき、災害時や停電時でも呼吸器や吸引器などの医療機器を継続して使用できる体制を整備しました。  
また、防災訓練を実施し、保護者とスタッフが非常時の対応手順を確認しました。  
本事業により、子どもたちの命を守る備えが強化され、より安全で安心できる環境を整えることができました。

#### 参加者・対象者の様子

訓練に参加した職員からは「停電時の不安が軽減された」との声があり、子どもたちも落ち着いて参加しました。

#### 団体連絡先

058-374-4117  
parazakids@gmail.com

<https://3rdstreet.studio.site>



#### 冠寄付者(東海ろうきん)へのメッセージ

必要性を感じながらも、自分たちで購入することができずにいました。  
ご支援いただいたことで、大切な備えができました。本当にありがとうございました。

助成額 100,000円

総事業額 139,755円

## ④ NPO法人ぎふ市民協 (岐阜市)

### 助成事業名 医療的ケア児等の通学支援のための福祉車両を増やす事業



#### 事業の目的

中古ですが、新たに入手した福祉車両を、公的支援制度が不十分な医療的ケア児の通学支援などにも活用できるよう、ストレッチャー固定装置を福祉車両の後部車内にとりつけるために、ぎふハチドリ基金の【すぽっと助成】を申請しました。

#### 事業の内容と成果

24年度は、実際の医療的ケア児の通学支援は数回の試みという状況でした。酸素吸引が必要な生徒さんと看護師や保護者の同乗・介助をしながら自宅と学校へ送迎しました。岐阜県教育委員会も、24年度医療的ケア児の通学支援制度のモデル事業を実施、次年度以降の制度化に動き出しています。福祉車両にて送迎事業ができる、担い手の広がりが求められてくる、と思われれます。今回の助成を契機に、当法人としては、もともと取り組んでいる福祉有償運送(障がい者や介護認定高齢者が利用できる送迎・移動サービス)に加えて、消防署が認定する、「民間救急車(患者等搬送事業)」の認定申請が行えることになりました。医療的ケア児の通学支援に加え、消防署の救急車への補完事業(主にストレッチャーによる入退院対応の送迎)もできることとなります。

#### 参加者・対象者の様子

医療的ケア児1名とその兄弟1名(医療的ケア児ではないが障がい児)の2名の利用登録がありました。岐阜県では今まだ制度化されていない「医療的ケア児の通学支援」が本格化されたら、対応可能な事業者として手を挙げる予定です。

#### 団体連絡先

TEL: 070-5640-9708  
Eメール:  
kksdq793@ybb.ne.jp

#### 寄付者へのメッセージ

【すぽっと助成】は少額ですが、そこから次につなげることもできるということで感謝です。

助成額 54,000円

総事業額 54,595円

## ⑤ ニコニコ体操クラブ (本巣市)

### 助成事業名 障がい者、ひきこもりの若者の心と体の健康作りと居場所作り事業



景品として配布

#### 団体連絡先

morimotofarm@yahoo.co.jp



#### 事業の目的

知的障がい者の保護者から「事業所に通っている平日はやることがあっていいけど、土日、祝日はやることなく無為に過ごしてしまうので、何か充実した過ごし方を考えて欲しい」という要望を受けて、私たちの事業がはじまりました。

#### 事業の内容と成果

音楽にあわせた健康体操を指導者の先生と一緒にやる事業をはじめたところ好評で、口コミで広がり、当初より会員が倍増しました。バスでの遠足、こども食堂、クリスマス会などのイベントを年間行事に取り入れ、笑顔と楽しさ満載の事業運営を心がけています。また、ニコニコサポートセンターとして相談事業をはじめたところ、成年後見人の手続き、グループホーム入所など、親なき後の自立や親離れ、子離れにつながる成果が生まれています。

#### 参加者・対象者の様子

体操の後は、親さん同士で情報交換が盛んに行われとてもいい居場所になっています。自分で簡単な食事ができるように非常食を配布したところ、「思いのこもったプレゼントと『お母さんに頼らないで、自分で作ってね』も心に響きました」という嬉しいコメントをSNSでいただきました。

#### 寄付者へのメッセージ

たくさんの人の善意で成り立つ活動には「人、物、金」は重要な要素です。基金に寄付してくださった個人、団体の方々には、この「金」の部分で大きく助けていただきました。クラブの仲間達を代表して心から感謝申し上げます。

助成額

100,000円

総事業額

138,672円

## ⑥ シネマ@多治見同好会 (多治見市)

### 助成事業名 「コーダ あいのうた」バリアフリー上映事業



#### 団体連絡先

HP :  
<https://cinematajimi.web.fc2.com/front.html>  
MAIL :  
cinematajimi@gmail.com



#### 事業の目的

映画館のない町多治見の中心部で映画「コーダ あいのうた」の上映会を行う。劇場で映画を観る機会が少ない障がい者の方、または障がい者支援を行っている方を招待し、一般市民と共に、ヤングケアラーである主人公と家族の問題を語り合い、理解を深めたい。

#### 事業の内容と成果

10月12日(日)13:30/18:00 ヤマカまなびパーク多目的ホール(多治見市豊岡町) 当日までに招待券を33名に配布した。前方に車イス席を作り、聴覚障がい者用字幕にて上映。13:30回の上映後「感想を語る会」を行い、その際要約筆記を実施した。

#### 参加者・対象者の様子

ほぼ寝たきりの方を含め車イスでの参加者が3名、その他にも精神障害のある方やその家族、支援を行っている方などにご来場いただいた。「感想を語る会」には手話通訳をしている方をはじめ10名が参加され、ろう者の聞こえ方にも色々あること、また、ヤングケアラーとなってしまう健聴者の子どもについて貴重なお話を聞くことができた。特にヤングケアラーとその家族の関わりについて若い参加者から活発な意見が出ていた。

#### 寄付者へのメッセージ

ご寄付をいただきありがとうございます。立ち上げたばかりの団体に手に余る規模の事業でしたが、おかげさまで無事に終了することができました。この経験を元に、「何か心に残る」上映会を続けていきたいと思っております。

助成額

30,000円

総事業額

30,000円

# A.事業助成【はじめる助成】全6件 合計1,584,000円



## ① 一般社団法人まなびのとびら岐阜羽島きょういくラボ (羽島市)

### 助成事業名 「学びにつながっていない子どもをゼロに」を実現するまちなかスクール事業



#### 団体連絡先

090-2281-7584

<https://manatobi-gifu.com>

Instagram:

manatobi\_edulabo



#### 事業の目的

不登校児童生徒が増加の一途をたどり、学校に行かないこどもはもちろん、保健室や相談室登校で学校に行くものの「学びにつながっていない子ども」が多数いる現状で、学校外でも豊かな学びを実現して「学びにつながっていない子どもをゼロに」するため。

#### 事業の内容と成果

「まちなかスクール」は、平日昼間に地域の事業所や商店にお邪魔し、大人の方に職歴や特技を生かした授業をしてもらい、それを不登校児童生徒に提供するもの。2024年度6月にスタートし、同年度内に32回開催。延べ100人以上のこどもが参加。特に9月以降は週に一度は必ず開催し「週に一度はまちなかで学べる街羽島」を実現し続けた。2025年1月以降は、羽島市内の児童生徒はまちなかスクールへの参加を学校の出席扱いと認められている。家から出るきっかけづくりとして有効であり、まちなかスクールへの参加から積極的に外に出られるようになったり、フリースクールにつながったりした事例も多い。

#### 参加者・対象者の様子

(参加者アンケートより)本当に楽しかったようで、また行きたいと何度も言っています。今回の参加で少し考え方が変わったのか、他のイベントにもとりあえず参加してみようという気持ちを持ってくれました。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

#### 冠寄付者(東海ろうきん)へのメッセージ

本事業は参加費以外に収入がなく、継続性が必要な事業なのに金銭的に非常に難しいところ、大いに助けられました。こどもたちの学びを支えていただきありがとうございました。

助成額

300,000円

総事業額

450,446円

## ② そらまめ (岐阜市)



### 助成事業名 医療的ケア児者、重症心身障害児者の通学・通所およびお出かけサポート事業



#### 団体連絡先

E-mail :

2022soramame@ymail.ne.jp



#### 事業の目的

人工呼吸器などの医療的ケアがある子どもは保護者の送迎での通学になるため、保護者が送迎できないときは学校へ行けません。医療的ケアがあっても、自宅から「行ってきます」と登校し、「ただいま」と下校する、それが当たり前になってほしいとの思いから通学通所支援をしています。家族だけではお出かけが大変な医療的ケア児。看護師や介護士などでサポート体制をつくり医療的ケア児もきょうだい児も参加できる旅行を企画しました。

#### 事業の内容と成果

福祉車両に添乗者をつけて送迎をすることで子どもだけで自宅を出発し、学校に通うことができました。保護者からは「子どもがそらまめで学校に行くのが楽しそう。」「夜間の子どものケアで寝不足で車で送っていくのが不安な時でも送迎をしてもらえるので子どもが学校に通えてうれしい。」という声が聞かれました。また、みんなで行った大阪旅行は医療的ケア児、きょうだい児、家族、支援者みんなの思い出に残る貴重な経験となりました。

#### 参加者・対象者の様子

車内から見送るお母さんに手を振る姿がうれしそうでした。友達と一緒に遊びに行くという初めての経験に大興奮でした。

#### 冠寄付者(東海ろうきん)へのメッセージ

おかげで医療的ケアのある子どもたちもほかの子どもと同じように学校に通うことができました。また、家族だけではなし得なかった、お出かけができ、子どもたちにとって楽しい思い出をつくることができました。本当にありがとうございました。

助成額

300,000円

総事業額

304,672円

### ③ お結びの森 (可児市)



助成事業名 学校に居場所を失った子ども達が元気・笑顔を取り戻して自分らしさにかえる居場所作り事業



団体連絡先



#### 事業の目的

主に不登校の子の保護者の以下の悩み4つに寄り添うためにスタートしました。  
①学校以外に子どもが平日に過ごせる場所が必要/②子どもに家に籠もって欲しくない。  
家族以外との接点が欲しい/③発達凸凹が大きいが対応がわからない/④自分1人の時間が足りない

#### 事業の内容と成果

年27回不登校の親子が参加できる集まりを開催。料理、お菓子作り、体育室遊び、カードゲーム、森で過ごす、畑で過ごす等 まずは来てもらうことが大事なので様々なことを試した。地域のおばちゃんたちとお母さんがのんびり楽しく過ごし、美味しいものを一緒に食べて時には悩みを打ち明けて泣いて笑って自然体でいる。そんなお母さんの傍で子どもは安心して過ごしているようだった。何よりもお母さんの自然な笑顔が子どもの安定剤。お母さんも子どもも「今はこのままでいいのかも」と、今を肯定する人が増えた。何よりも子ども達に笑顔が増えたことが成果である。

#### 参加者・対象者の様子

「うちの子のこんなに楽しそうな姿は久しぶりに見た」「子どもに怒らないようにと我慢しているストレスをここで吐き出せた」「他のお母さんと話せて気持ちや情報を共有できていい」「時間がかかっても自分の気持ちを伝えられた」「雪合戦が楽しかった」

#### 冠寄付者(東海ろうきん)へのメッセージ

不登校で孤独になり苦しんでいる親子の居場所は命にも関わるほど大事な場所だと感じています。小さな活動ですが来年度もコツコツ続けていきます。ご支援感謝致します。

助成額 300,000円

総事業額 329,925円

### ④ 一般社団法人山学(やまなび) (本巣市)



助成事業名 中山間地の子どもたちに向けた学習支援・居場所「寺子屋シアン」運営事業



団体連絡先

<https://yamanabi.jp/>



#### 事業の目的

本巣市北部は過疎が進む中山間地です。地域内の小学校は全校児童32人(2024年度)の小規模校です。こうした地域特性上、当地は子どもたちにとっての学校外の居場所・学びの場を欠いています。山あいて生まれ育つ子を支える狙いから寺子屋を開いています。

#### 事業の内容と成果

ローカル線・樽見鉄道の無人駅「神海駅」の旧駅長室において、平日週3日・17:00~20:00の3時間、小中高校生の学習の場を開きました。ぎふハチドリ基金の助成事業にてサポートいただいた期間(2024年4~6月)には計35回開講し、延べ180人の子の利用がありました。

子どもたちは持ち込んだ宿題や寺子屋で用意したワークにそれぞれ取り組み、わからない問題に対して社会人・大学生の支援員がサポートをしました。不登校の子、学校の授業進度に追いつけない子、海外から来日して1年未満の子など、それぞれに困難を抱えながらも前向きに乗り越えようとする子たちが通って来てくれました。

#### 参加者・対象者の様子

樽見鉄道に乗ってさらに山あいからやってくる中学生は「家や学校以外に、集中して勉強に取り組める場所があるのがうれしい」と話してくれました。休憩時には、子どもたちと支援員の大学生とが趣味や映画の話で笑い合う場面もたびたび見られました。

#### 冠寄付者(東海ろうきん)へのメッセージ

教育環境の地域間格差という社会問題はまだまだ光が当たり切っていないと感じますが、こうした中で支援をくださった東海ろうきんさまに、心から御礼を申し上げます。

助成額 300,000円

総事業額 327,333円

## ⑤ NPO法人MINO COOL JAPAN (美濃市)



### 助成事業名 みのっ子村運営事業



#### 事業の目的

子どもたちが主体的に遊び、学び、そこに关わる地域の大人が子どもたちを尊重し見守ることを通して、子どもたちにとって安心・安全な居場所を作ることを目的とする。

#### 事業の内容と成果

3つの要素を組み合わせた居場所として「みのっ子村」を主催する。

◎プレーパーク：美濃市内の小高い山と森などで自然の中で思いきり遊び、室内で工作や手遊び等をして「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに子どもも大人も主体的に遊ぶ場所。

◎寺子屋：宿題をしたり勉強を教えてもらったり、学びたいことを本で調べたりする場所。

◎子ども to 食堂：料理を作りたい子どもと一緒に作りみんなで食べる場所。食材集めは寄付・協賛なども活用。

#### 参加者・対象者の様子

宿題をしてから遊ぶみのっ子、料理をしたい子が高校生と料理体験をしたり、大人に話を聞いてもらったり、自分で選択して過ごすみのっ子村。

2ヶ月に1回といった頻度で開催してきたことにより、子どもも大人も安心して過ごせる場所となりました。子どもを中心として野外で過ごすことで、保護者、地域の人、学生など多世代で関わる居場所となりました。

#### 団体連絡先

NPO法人MINOCOOLJAPAN HP



#### 冠寄付者(東海ろうきん)へのメッセージ

この度はご支援いただきありがとうございました。子どもたちの「やってみたい！」を応援できる活動となりました。始めることができましたので、これからは長期的に続けていけるよう試行錯誤していきます！今後も応援よろしくお願いたします。

助成額 300,000円

総事業額 343,956円

## ⑥ 西町みんな食堂(美濃加茂市)



### 助成事業名 みんな食堂事業



#### 事業の目的

私たちの地域では、自治会に加入しない世帯が増えていて、外国籍住民の割合が高いという現状があります。子どもも大人も歩いて行ける距離にどなたでもようこそ子ども食堂をつくって、子育て世帯を応援したい、国籍に関わらず子どもも大人も地域のいろんな人と関わる機会を増やしたいとの思いから活動を始めました。

#### 事業の内容と成果

毎月1回、日曜又は祝日に昼食の提供を行い、1年間で延べ525人の参加がありました。この事業をきっかけに、地域の皆さんと、顔と名前の分かる関係を徐々に築いています。会食形式でみんなが同じものを一緒に食べる、相席で参加者同士の距離が近いということが、温かく楽しい雰囲気となって参加者に感じてもらえていると思います。

#### 参加者・対象者の様子

初めの頃はなかなかおかわりを言い出せなかったけれど、何回か参加すると自分でおかわりをもらいに行ける子が多くなったと思います。毎月楽しみにしてくれたり、家ではあまり食べない子がここでは毎回たくさん食べてくれたりします。

#### 団体連絡先

nishimachi.minna@gmail.com



NISHIMACHI\_MINNA\_SHOKUDO

#### 冠寄付者(たんぽぽ薬局)へのメッセージ

助成事業に採択いただき誠にありがとうございました。初年度12回の活動をやり切り、良いスタートができた嬉しく思っています。これからも子ども・子育て家庭の支援、地域のつながりづくりの活動を継続していきます。

助成額 84,000円  
(内70,000円 ☆1たんぽぽ薬局キッズまんぷく基金)

総事業額 133,816円

# A.事業助成【つづける助成】全7件 合計2,349,000円

## ① ながら「梅子の家」を運営する会（岐阜市）



### 助成事業名 夏休み子ども食堂と子ども食堂祭り事業



#### 事業の目的

長期休みでの食の貧困や家に閉じこもりがちになることやコロナ禍を経てストレスを抱えている子どもたちに、食と居場所の提供をし、人との関わりの中で過ごせるようにする。

#### 事業の内容と成果

- <内容>・昼食の提供（1日30～45食）14日間 参加者延べ481名
- ・居場所活動（1日20人程度） 絵手紙・クラフト・習字・折り紙等の企画
- ・子ども食堂祭り 子どもを真ん中に地域の人々との交流の場 参加者98名
- <成果>・子どもボランティアの活躍の場が増えた。
- ・コロナ禍の弁当配布から梅子の家で食べるようになり、子どもの様子がわかるようになった。
- ・居場所活動の企画は地域の人々との交流の場になった。

#### 参加者・対象者の様子

子ども食堂への参加は低学年、未就学児が大半、中高生は少なかったが、グループで遊んだり、企画に参加して、自由に多くの子ども達が過ごせた。子ども食堂祭りは、準備段階から子どもたちの希望をいれた企画作りと当日のお手伝い等、子どもが主役になれるように支援した。又、親の参加も増え、「夏休みの子ども食堂が助かっています」という声も聞かれ、私たちの励みになった。

#### 団体連絡先

〒502-0071

岐阜市長良3076-8

Tel/Fax : 058-213-5723

Mail : umegonoie@gifu-min.gr.jp

#### 冠寄付者（東海ろうきん）へのメッセージ

多くの寄付をいただきありがとうございます。「食」のみでなく、子どもの成長を地域で見守れるような居場所をめざし、今年はコロナ禍からの1歩を踏み出せたと思います。

助成額 200,000円

総事業額 266,761円

## ② 一般社団法人もちもちびと（高山市）



### 助成事業名 毎週金曜日夕暮れ時にひとつつながる優しい居場所事業



#### 事業の目的

当地域は自殺率が高く、生きづらさを抱えて孤立している方が多くいることが予想されるため、孤独感を感じている子ども・若者・子育て家庭が、週1という頻度で日常的に立ち寄れる場を持ち、他者とつながり、孤立しないことを目的に事業を実施しました。

#### 事業の内容と成果

「生きづらさや困難を抱えても、誰もが孤立せず緩やかに人と繋がりを持てる優しい地域”を目指し、毎週金曜に夕方居場所を開設しました。孤独感を感じている方を対象としつつ、誰でも立ち寄れるオープンな場とし、手作りの食事の提供、何でも相談を常時受け付けました。一つの空間に、悩み相談する人、ソファでくつろぐ人、趣味の話で盛り上がる人、ゲームで遊ぶ子供たちが居る。

「それぞれ互いの存在を認識しつつも、無理に介入せず、互いの自由を尊重し、心地よい時間を共有できる【よるねこ時間】は、理想的な社会の縮図だ」と表現された参加者の言葉が印象的で、得られた成果です。

#### 参加者・対象者の様子

「どんな悩みを話しても良い・受け入れ合う」という価値観が参加者にも浸透し、優しい空気ができていました。「毎週行ける場があることで孤独感が減った」「悩みを共有できて一人じゃないと思えた」「手作りの食事は久しぶりだ」等の声がありました。

#### 団体連絡先

0577-36-5737

mochimochibito@gmail.com



#### 冠寄付者（東海ろうきん）へのメッセージ

ご支援のおかげで、居場所を継続でき「誰もが孤立せず緩やかに人と繋がりを持てる優しい地域」へ一歩近づきました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

助成額 400,000円

総事業額 478,280円

### ③ ハルジオン～不登校や不登校経験者の子と親と一緒に歩む会（飛騨市）



助成事業名 多様な困り事を抱えた子ども達に寄り添い、その子らしい未来に繋ぐ居場所作り事業



#### 事業の目的

昨年度からスタートした「子ども達の学びも出来る居場所」は、学校や家庭・連携している様々な方達と繋がることで、その子にとって一番安心できる寄り添い方を一緒に考え、再び歩いていく未来を作る活動で皆がそれぞれの多様な生き方を理解し、助け合える地域づくりの実現を目指します。

#### 事業の内容と成果

- ・子ども達の学びも出来る居場所…毎週3回開所：合計 142回・22名・95回利用ありました。
- ・PC教室 9回開催：子ども達がいつでも学べるようにスタッフ研修も実施しました。
- ・チラシ2種作成し、市内全ての小中学校に配布の他、市役所、図書館、関係先等に配置しました。
- ・交流会 3回開催（子25名・家族等12名）：親も一緒に参加することで、参加できました。
- ・今年度はハルジオンから6名が就職や進学や学校復帰等それぞれの進路へ進みました。
- ・HPでの周知開始した事で、見学も増え、地元企業様のご寄付もいただき交流できました。

#### 参加者・対象者の様子

この事業を実施して、今年度は新たに沢山の子ども達やご家族に繋がることが出来、沢山の笑顔を見る事が出来た。交流会や PC教室の他、普段の利用でもそれぞれの想いを伝えられる子どもが増えて嬉しい反面、なかなか来られない子どももおり、お話ししながら進めています。

#### 冠寄付者（東海ろうきん）へのメッセージ

冠基金で助成していただき本当にありがとうございました。これまでの活動を通して今年度は沢山の子どもがそれぞれの意志で決めた道に進む姿が見られたことは本当に嬉しい成果だと思います。どんな時も変わらず居場所があることでこれからも子ども達が自分らしく笑顔で生きていけるよう、沢山の縁を繋いで見守り支え合える地域づくりを目指します。

#### 団体連絡先

080-1615-8518



担当：中村

(ショートメールでどうぞ)

助成額

400,000円

総事業額

421,009円

### ④ NPO法人子ラボハウス キキの家（郡上市）



助成事業名 集団が苦手な子育てに困難を抱える親子支援事業



#### 事業の目的

郡上市では「遊びの教室」が月1回開催される。毎週1回リトルキキを開催し、お母さんが子育てを楽しめるように、やりにくさを持つお子さんがのびのび遊べるように。小学生が小集団で様々な体験をし、人との関わり方を学んだり自分の良さに気づくようにする。

#### 事業の内容と成果

市長さんと語る会を開催し、お母さんやスタッフの思いを直接市長さんに届けた。毎週リトルキキを開催し、お母さん達に安心して参加できる場所を提供した。自分一人だけが大変ではない、私はこう思ったけどそう考えれば子どものいいところが見えてくる等、お母さんへ声掛けの仕方や子育てが楽しくなるヒントを提供できた。子どもは、見通しをもって安心して遊び、おにぎりや味噌汁と一緒に食べ、サツマイモなどの収穫、水遊び、砂遊びなどを行った。小学生は、みんなで楽しく遊ぶ体験ができた。すり鉢を使って料理したり、火起こしをしたり、様々な体験を通して自分の良さを仲間の中で気づく子もいた。

#### 参加者・対象者の様子

他のお子さんがある場所に行けなかった親子が参加し、心に余裕ができ、笑顔が増えた。子ども達は五感をフル活動してのびのび遊んだ。小学生の中には自己肯定感が高くなったと感じる子が何人かいた。〇〇を貸してなど声をかけられるようになった。

#### 冠寄付者（東海ろうきん）へのメッセージ

東海ろうきん様、厚く御礼申し上げます。  
郡上の未来を担うであろう子ども達とそのお母さん達に、困ったらあそこに行ってみようという場を提供できたと思います。

#### 団体連絡先

korabohausu.kiki@gmail.com

090-2573-5073

https://house-kiki31.jimdofree.com/



助成額

400,000円

総事業額

528,588円

## ⑤ I'm (北方町)



### 助成事業名 不登校児のための家族交流会と学習コミュニケーション支援「iプレイス」事業



#### 事業の目的

現代の不登校児童(全国約30万人)は、半数以上がこれといった大きな事件をきっかけとしない、大人が納得出来る理由を持たないものであります。その数はコロナ禍以降急速に増え続け、必要な学びや社会との繋がりが途絶えてしまっています。

#### 事業の内容と成果

家族交流会の開催によりご家族のコミュニティを、学習・コミュニケーション支援 iプレイスとして子供たちの居場所を運営してきました。参加するお母さんも子供も皆、出会った時より顔が明るくなったように感じます。子供が元気になればお母さんも元気になる、またその逆もあることから、やはり親子双方への支援が必要であると感じました。我々スタッフも「居場所がある」ことで得られる成長を、あらためて実感しました。



#### 参加者・対象者の様子

家族交流会では、ご家族の方が会う回数を増すごとに次第に打ち解け、次会えるのを楽しみにしている様子が見られました。iプレイスは、毎週継続して通う子、数か月に1回通う子など活用の仕方は様々ですが、各実習を通して次第に打ち解け、人と関わることで顔つきまで変わっていったように感じます。大人にも子供にも「居場所」は必要であると再確認しました。

#### 団体連絡先

090-1786-8202 (代表 坂井田)  
im.sakaida1@gmail.com



#### 冠寄付者(こくみん共済coop)へのメッセージ

この基金のおかげで、今年度この支援を行うことが出来ました。本当にありがとうございます。子供たちの笑顔、たくましくなっていく姿を見られたことが本当に嬉しかったです。

助成額

229,000円

(内100,000円 ☆2こくみん共済coop子ども成長基金)

総事業額

231,220円

## ⑥NPO法人つむぎの森(各務原市)

### 助成事業名 生きごちのいい生き方事業



#### 事業の目的

不登校や、ひきこもりになるような生きづらさを抱え、支援を必要としている人たちが、支援ではなく、マルシェや居場所での活動を通じて、地域の人とつながり、主体性を取り戻し、生き心地のいい、自分らしい暮らしをしていくピアサポートの場を作る。

#### 事業の内容と成果

つながりマルシェや子どもの居場所は、これまでつながっていなかった、不登校やひきこもりの当事者の方々が遊びに来られるようになり、具体的なサポートが始まるケースが増えた。畑の野菜を使ったまかないごはんは人気で、ドネーションで賄えるようになり、その調理を当事者の若者たちが手伝い、多くの人に喜んでもらえ、自信となった。ゆいまーるカフェやネイチャーマインドワークショップでは、語り合うことで、自分自身を振り返り、お互いを知ることで絆が生まれ、ピアサポートの場が出来上がっていった。つむぎ野の畑という場が生き心地のいい場所と知られるようになった。



#### 参加者・対象者の様子

畑の自然の中で、花や動物とのふれあいが癒されるといわれ、人づてで参加をされる方々が増え、自然な形で当事者の方々が活動を手伝う場面が生まれ、支援の場ではなく、同じような生きづらさを持った人同士が支えあう様子が多く見られた。

#### 団体連絡先



#### 寄付者へのメッセージ

寄付をいただき、充実した活動が行うことができる場所に育ちました。今後も続けていくことで地域の方々に広げていけたらと思っています。ありがとうございました。

助成額

400,000円

総事業額

415,152円

## ⑦ NPO法人ほっぺの会 (岐阜市)

### 助成事業名 親子でたのしく食育クッキング事業



#### 事業の目的

家庭の楽しい食育実践へつなげ、「食」の悩みや不安の解決をサポートすることを目的とします。安心して子育てできることは、子どもの健全な心と体の発達につながります。未就園児に生活習慣の基礎をつくり、未来の健康や社会を担う人材育成に大切な取り組みです。

#### 事業の内容と成果

対象：2.3歳児とその保護者 内容：月2.3回10:10~12:30 場所：「虹色テラス」(榑桐山) 内容：親子クッキング・キッズ食育シアター・おとなの食育栄養講座・手形のプレゼント付きで開催・情報の共有をしながらふれあいの場になった。親子共に自己肯定感が高まった。特に子どもと家族の健康についての知識を習得でき、「食」の悩みも軽減し、子どもの生活習慣が改善された方も多し。調理体験で子どもの向上心の育みにもつながり、「子育てが楽しい。」という言葉も出るようになり、親子の未来につながる貢献ができた。



#### 参加者・対象者の様子

アンケートより「子どもが思うようにやらせてあげる時間を作れた。」「子どもの「食」への関心が高まり、教えてもらったことを家で会話するようになり、買い物時にお菓子売り場より野菜売り場に関心がいくようになった。」「二歳児にどこまでやらせてよいか分かり、家でも一緒にやるようになった。」など参加してプラスになった様子がうかがえました。

#### 団体連絡先



#### 寄付者へのメッセージ

ハチドリ基金により、参加費の負担を軽減でき、たくさんの方が繰り返し参加できたことにより、親子とも「食」の悩みを解決することが出来ました。ありがとうございました。

助成額

320,000円

総事業額

415,105円



# A.事業助成【はばたく助成】全3件 合計2,077,000円

## ①ぎなんプレーパークの会（岐南町）

### 助成事業名 外遊びをとおした居場所づくり ～放課後プレーパーク～ 事業



#### 事業の目的

学校に通ってはいるものの、学校生活や習い事、さらには家庭での生活においても精神的に疲れている様子の子どもが、プレーパークに参加する中でも目立つようになってきました。焚火を囲む場面では、そうした子どもたちがふと本音を漏らす場面も見られ、平日に安心して過ごせる居場所の必要性が、子ども自身や保護者から以前にも増して寄せられるようになりました。今回の取り組みでは、子どもが自力で通いやすい学校のグラウンドを活用し、屋外での遊びを通して、放課後にさまざまな子どもや大人が自然に関わり合える居場所づくりの基盤を整えることができました。

#### 事業の内容と成果

月1回、岐南町立北小学校で放課後に開催したプレーパークには、他校に通う子どもも保護者とともに参加し、学校の枠を超えた交流が生まれました。中学生が見守りを手伝う姿も見られ、学童を休んでプレーパークに参加する子もいました。子どもたちは、大きなシャボン玉づくり、けん玉、焚火、木工、綱引き、チョークでの自由な絵描きなど、多様な遊びに夢中になり、それぞれの「やってみたい」を大切にすることができました。普段の生活で制限されがちな遊びを思いきり楽しむことで、子どもたちの表情は明るくなり、心が軽くなったように感じられました。保護者からは「外で思いきり遊べる場がありがたい」といった声が寄せられました。神社での開催でも参加者が増え、終了後に行った交流会は、子どもたちが本音を語る場にもなりました。地域の中で選択肢が増えたことは、子どもたちに安心感をもたらし、外遊びの価値を改めて実感できる機会となりました。講師（子どもの居場所づくりを長年実践されてきた）、岐南町長、羽島郡二町教育委員会教育長が登壇した「みんなのまちづくりトーク祭り」では、学びの場と交流会が一体となり、岐南町在住の方々を中心に“外遊び”を通じた居場所づくりの大切さを知る機会となりました。行政・学校・地域・保護者など幅広い立場の方々が参加し、交流の時間ではさまざまな意見を聞いたり、互いの考えを知ったりする貴重な場となりました。また、団体の活動に関心を持ってもらうきっかけにもつながりました。



#### 参加者・対象者の様子

子どもたちはプレーパークで自由に遊びながら、日々のストレスを発散していました。ある日、「あの棒（プールスティック）、今日は出さないの？私たちストレス溜まるから発散したいの！」という声上がり、子どもたちの中にある息苦しさや垣間見えました。シャボン玉を割ったり、描いた絵を一気に消したり、雨や水に濡れて遊んだり、思いきり体を動かすことで、子どもたちは心を解きほぐしているようでした。その姿から、プレーパークが安心して過ごせる場所になっていることが伝わってきました。また、神社でのプレーパークには親子で参加する人も増え、終了後の交流会では、家庭や学校での悩みを打ち明ける子も現れました。中高生や地域の大人たちと関わる中で、「いろんな考え方があっていいんだ」と、子どもたちが安心感を得ている様子も見られました。地域の方々からは、「子どもの声はいいね」と声をかけてもらったり、お菓子の差し入れをいただいたりと、温かく見守っていただく機会も増えてきました。参加者の増加とともに、会場には子どもたちの笑い声や元気な声があふれ、活気に満ちた雰囲気生まれています。



#### 団体連絡先

ginanplaypark@gmail.com



#### 寄付者へのメッセージ

“遊ぶこと”は子どもにとって生きることそのものです。今回の事業では子どもたちの「やってみたい！」を大切に活動をおこなうことで、たくさん子ども達の生き生きとした笑顔、真剣な眼差しを沢山、目にすることができました。そして、保護者をはじめとした大人の笑顔も子ども達に良い影響を与えたと感じています。ご寄付いただき、応援して下さった皆様ありがとうございました。

助成額

477,000円

総事業額

480,409円

## ② 一般社団法人よだか総合研究所（本巢市）

（協働団体：一般社団法人いび森のようちえん こだぬき）

### 助成事業名 揖斐川町の地域特性を反映した子育て支援事業

#### 事業の目的



揖斐川町の地域特性を踏まえた子育て支援を実現するため、この事業を開始した。揖斐川町は岐阜県で4番目に大きい面積を持つが、人口は2万人に満たず、0-14歳の人口比率10.2%（2020年）、2023年の出生数は53人だった。少子化、核家族化、高齢化により「地域で子どもを見守ること」が年々困難になっており、子育て家庭の孤立が危惧される。学校の統廃合も相次いだ結果、子どもが自力で移動することが難しい状況が生まれている。このような地域の課題を踏まえ、地域特性を反映した子育て支援を模索し、本事業を立ち上げた。

#### 事業の内容と成果



岐阜県内の市町村のうち86%（36市町村）が実施しているファミリーサポートセンターを手本として、子育て援助活動を行った。

（1）子育て援助活動のトライアル・揖斐川町における子育ての現状と課題の整理

- ①規定類の整備：利用規約・利用の手引きを作成し、予約管理システムを開発した。
- ②トライアル準備：広報用のチラシを作成、配布。当法人が運用する既存のWEBサイト内に専用ページを作成し、公開。揖斐川町内の園や公民館で説明会を開催。揖斐川町役場子育て支援課に事業内容を説明。送迎のために研修の実施。
- ③トライアル実施：・2024年9月～2025年3月にかけて、子育て援助活動のトライアルを実施。登録者数：提供会員16人 利用会員7名（重複3名）利用件数：87件 揖斐川町の子育て世帯を対象としたアンケート回答数21



（2）過疎地における子育て支援の調査とヒアリング

県内の先進地域事例へのヒアリング：2団体 会員対象のお話し会：6人

（3）まとめ ホームページに活動報告を公開。

揖斐川町内で開催されたイベントで今年度の活動成果を発表。

#### 参加者・対象者の様子



本事業を通じて、揖斐川町および近隣地域に在住で子育て支援に関心を持つ人々との新たなつながりが生まれました。想定よりも幅広い反応があり、今後の展開に希望を持ちました。

○アンケートより

私の子育て中にこんなセンターが欲しかった。保育園や幼稚園しか頼る場所はなかったから。仕事をしている方だけの預けしかなかった。仕事をしていなくても、子育て中は疲れるから1人になりたかったり、夫以外の大人、誰かと話したかったり、息抜きしたい気持ちはあるから親兄弟以外の人との交流は、大事だしある方が豊か。ファミサポ、とてもいい制度だと感じているので、類するものができるのは嬉しいです。子育てママはもちろん助かるし、預かりたい層も地域貢献になるし。料金に関しても補助の割合がもっと増えるとなお助かります。今の物価高では利用したくともできない場合も…行政に理解を得られると有難いです。社会で子どもを助け合って育てる楽しさがもう少し周知されるべきだと思うし、提供する側になった場合にあまり気負いすぎなくてよい環境ができるといいな。

#### 寄付者へのメッセージ

ぎふハチドリ基金のおかげで、長年気にかけていたことにチャレンジする機会がいただけました。また本事業により、地域の人たちとの新しいつながりができたことが大変ありがたいです。

今年度をはじめに、この事業に継続的に取り組んでいきたいと思っています。

#### 団体連絡先

<https://yodaka.org/>

Mail : [info@yodaka.org](mailto:info@yodaka.org)



助成額

800,000円

総事業額

819,008円

### ③ NPO法人心をつなぐホースセラピーぐりん・はあと（本巣市）

助成事業名 生きづらさを感じている子どもやその親が居心地のよさを感じられる居場所・拠り所づくり事業



#### 事業の目的

事業の目的は、生きづらさを感じている子どもやその親を対象とした『居場所・拠り所づくり』である。生きづらさを抱えた子どもが安心できる、自己存在感や充実感を感じられる社会づくりに少しでも寄与したいと願う。事業は、以下に述べる3つの柱で構成した。特に支援から取り残されがちになる人たちが、より広域で一人でも多く、情報にふれ、支援の場や機会がもてるようにするために、ネットワークやポータルサイトを立ち上げ、ニーズに応えることに重点を置いた。

#### 事業の内容と成果

（事業1）生きづらさを抱える子どもやその親を対象にした踏み込んだ個別支援  
（1-1）（1-2）踏み込んだ個別支援（活動・相談）による居場所・拠り所づくり  
〔成果〕困り感の緩和、解消にむけた個別面談・本人活動を通して、「個の変化」を大切にし、子どもの未来への希望に向けた新たな一歩、親の子育てに向かう意欲の向上につながる支援をすることができた。

・親のみ49件、両親31件、親子19件、子のみ6件 ・実施数：年間延べ71日

（事業2）生きづらさを抱える子どもの親の居場所・拠り所づくり支援  
（2-1）おしゃべりカフェ、（2-2）おしゃべり交流会  
〔成果〕少人数で行い、解決の糸口を見いだすことで、子育てへの活力につなげることができた。

・実施状況：カフェ9回 / 交流会9回

・実施場所：岐阜市・本巣市・大垣市、多治見市、可児市、高山市等

（事業3）支援するための広域ネットワークづくり

（3-1）ネットワークへの加盟者・団体および応援者を増やす活動

〔成果〕年間を通じて加入者を増やすために、支援者等と直接会い、趣旨を説明し、加入を働きかけることができた。

・加盟登録団体数：3/31現在で24団体（更に16団体了解済み）

（3-2）講演会&交流会（※他の団体や支援者とのコラボ企画も含む）

〔成果〕講演者による話題提供をしていただいた後、対話交流により、思いや考えを深め、お互いに知り合い、繋がりを深めることができた。

・実施回数：3回（実施場所：岐阜圏域）

・西野博之氏・講演会&交流会（コラボ企画・共催）

・妹尾昌俊・講演会&対話交流会（コラボ企画・共催）

・ネットワークづくり講演会・対話交流会（主催）



#### 参加者・対象者の様子

◆個別の支援での声：「何だか私もエネルギーが湧いてきました。3学期に入って3日目！半日、行ってくると言っていて、先ほど出て行きました。今朝は少し背筋が伸びていたように感じます。子どもの変化はもちろんのこと、支援をしていただいていること、本当に嬉しく思います。」・・・保護者との信頼関係が深まることで、より精度の高い支援をすることができ、保護者からの感謝が高まった。

◆対話交流での声：「保護者が変わると子どもも変わることをケースごとに実感しています。対話交流を通して、これから子供の未来のために、心の底から楽しいと感じることのできる居場所を皆さんと一緒に考えていけたらなと思いました。」・・・支援者同士が繋がることの意義を感じていただけたことが、ネットワークやコネクタサイトのめざすところだと実感できた。

#### 寄付者へのメッセージ

3年間続けて多額の助成をして頂いたことで、ありがたい未来の形を着実に形作ることができました。いろんな方々との繋がりもでき、今後の運営や活動実施の大きな弾みとなります。岐阜県全域での事業ができたことも成果の一つです。

今後もよりいろんな地域で地道に事業を行うことができるとの期待感も膨らんできています。何より高額な助成のおかげです。今後も草の根的に活動する団体がたくさん生まれ、子どもたちを応援する活動が根付いていくと良いと期待しています。

これからも市民活動への応援をよろしくお願いいたします。

#### 団体連絡先

〔メール〕

green-heart@abeam.ocn.ne.jp

〔フェイスブック〕

<https://www.facebook.com/>

特定非営利 活動法人 心をつなぐ  
ホースセラピー ぐりん・はあと



助成額

800,000円

総事業額

896,211円

## B.利用者負担軽減助成 全4件 合計 575,290円

### ① NPO法人飛騨高山わらべうたの会（高山市）

#### 助成事業名 高山市ファミリーサポート事業 びいぼおサポート事業



#### 事業の目的

高山市ファミリーサポートは、高山市内の生後3ヶ月～18歳までのこどもの託児を行う。託児時間に、こどもが学習支援を受ける場合もある。びいぼおサポート事業では、高山市外の0歳～小学生までのお子さんの託児を行う。

#### 事業の内容と成果

ファミリーサポートではひとり親家庭、要養育支援家庭、日本語学習支援を受ける家庭の利用料を減免した。びいぼおサポートでは、緊急性があると判断される場合、利用料を減免した。今年度は、双子を里帰り出産したお母さんが精神的に不安定となった為、適応した。

#### 参加者・対象者の様子

ひとり親家庭からは「利用料を心配せずに、こどもを預けて仕事に行くことができました。」日本語学習支援を受けているお子さんからは「両親に大きな負担をかけずに学習できています。」と感謝の言葉をいただいた。

#### 寄付者へのメッセージ

利用料減免の助成をいただき、託児を利用したいけれども経済的不安があるご家庭の支援や、お母さんお子さんの安全の為に緊急的な託児対応に活用することができました。わらべうたの会が目指す「こども達、お母さん達がみんな笑顔ですごせる社会」実現の為に大きな力をいただけたのはぎふハチドリ基金のおかげと大変感謝しております。誠にありがとうございました。

#### 団体連絡先

電話：0577-57-8577  
HP：<https://hidawarabe.org>  
Instagram：@wara.bobo



助成額 200,000円

### ② 一般社団法人山学（やまなび）（本巣市）

#### 助成事業名 中山間地の子どもたちに向けた学習支援・居場所「寺子屋シアン」運営事業



#### 事業の目的

本巣市北部の過疎が深刻な中山間地において、地域に欠く学校外の学びの場・居場所を開いています。条件不利地域での学びを支援する狙いから、より多くの子・家庭に大きな経済的負担がかからない形で利用してもらえよう、本助成事業を活用しました。

#### 事業の内容と成果

多子世帯（子4人以上）の3人の児童・生徒について学習支援の利用料を軽減しました。過疎地で育つ子が自由に通える場であることが理想ですが、講師謝礼など運営費が必要なため利用料を徴収しています。一般的な学習塾に比べ格段に低水準ですが、多子世帯にはなお負担が大きく、本助成によりその軽減を図りました。中には不登校を経験しながらも高校受験に向けて通い続けてきた子がいました。友だちと交流しながら努力を重ね、無事に公立高校に合格することができました。地理的な条件や経済状況に左右されることなく学びの場が保証されることの重要性を改めて認識する機会となりました。

#### 参加者・対象者の様子

支援員は10～30代の社会人・大学生で、特に大学生は子どもたちにとって身近な存在です。休憩時間には映画や昆虫などの話題で盛り上がる姿もありました。学びの場であると同時に、多様な人と関わることで視野を広げる場になったのではないかと感じます。

#### 寄付者へのメッセージ

過疎が進む中山間地において、学校外の学び場・居場所を継続的に開くことができました。教育の地域間格差に目を向け、子どもたちを支えてくださったことに感謝申し上げます。

#### 団体連絡先

<https://yamanabi.jp/>



助成額 132,500円

### ③ 一般社団法人SEIMA137 (関市)

#### 助成事業名 保育事業および第3の居場所事業



#### 事業の目的

ひとり親世帯や、多子家庭の方の経済的なご負担を軽減し、障害のあるなしに関わらず、年齢差の関係なく、たくさんの心ある大人や仲間など、大家族での人間関係で切磋琢磨し、安心して過ごせる場作りと人間性を育むことを目的としている。

#### 事業の内容と成果

今年も、大自然の中で多種多様な遊びや体験をたくさんした。また、レザークラフトなどのモノづくり体験もした。



#### 参加者・対象者の様子

自分に自信を失くして人前に出られなかった子どもたちが、自信を持って周りの人たちに堂々と自分の意見を表現し、積極的に対話できるようになった。

#### 寄付者へのメッセージ

子どもたちを取り巻く環境はとても複雑化していて、それぞれのご家庭の抱える問題も様々です。

できる限り支援が継続できるように、社会全体でこのようなご支援をいただけることは大変心強く、感謝しております。

#### 団体連絡先

電話：0575-36-4578

メール：lionnokakurega137@gmail.com



助成額 120,000円

### ④ 一般社団法人ぎふ学習支援ネットワーク (岐阜市)

#### 助成事業名 生活困窮世帯の子どもが「学習支援室」に通うバス代等補助事業



#### 事業の目的

「学習支援室」に通う児童・生徒は、ほとんどが、生活保護世帯、就学援助世帯、ひとり親世帯などの経済的に困窮している世帯である。

無料塾といえど、来るためには実費交通費がかかる。子どもがお金の心配なく公共交通機関を利用して学習支援室に来ることができるようにする。

#### 事業の内容と成果

本助成金を利用して交通費を支給することにより、安心して通えるようになった。

その結果、塾への参加日数が増え、毎週きちんと通えるようになった子ども達が多かった。

毎週通えるようになると、精神的にも学力的にも安定して、学習意欲や学力の向上が見られた。交通費支給で学習支援事業を後押しし、正のスパイラルができていた。

#### 参加者・対象者の様子

子ども達は、様々な家庭での問題をかかえており、学習習慣がない子が多く、低学力の子が多い。学習支援室では、一人一人の学力に応じて、きめ細かく丁寧に教えている。今年度は20名以上の高校生が無事卒業し、大学進学や就職ができた。中学3年生は30名以上の子が全員高校進学を果たした。子ども達は、学習支援室で寄り添って応援することにより、夢を持ち前に向かって進むようになっている。

#### 寄付者へのメッセージ

子どもの貧困対策としての無料塾は、各地で開催されるようになってきました。しかし、その無料塾に通う交通費自体が、困窮家庭には大きなハードルになります。塾はタダでも、バス代がかかるとなると、行くことをためらう家庭も多くあります。この問題を解決するのが「交通費助成」です。これで子どもも家庭も安心して無料塾に通えるようになり、勉強に取り組むことができます。貧困の連鎖から抜け出させる第一歩です。

#### 団体連絡先

<https://gifugakushusien.qloba.com/>

[https://www.facebook.com/gifugaku/?locale=ja\\_JP](https://www.facebook.com/gifugaku/?locale=ja_JP)

EMAIL: gakushusien@yorisoinet-gifu.com



助成額 122,790円



## ① やこ&もこの家 (多治見市)

### 助成事業名 福ちゃん食堂事業



#### 事業の目的

近年の貧困問題を解決する一助となれることを目的とし、ひとり親家庭など、社会的弱者に対して、食事を提供し、居場所づくりを行うことを目的としている。分け隔てなく多くの方に参加していただき、つながりづくりも行いたいと考えている。

#### 事業の内容と成果

多治見修道院の施設を借り、月に一度70食限定予約制で、子ども食堂の事業を行っている。趣旨に賛同するスタッフで活動中。市内の高校生もボランティアで、活動を行っている。食堂のほかに、食の大切さを感じるために畑作業を行い、収穫の喜びを感じながら、感謝して収穫したものをいただく体験を行う。他にもぬりえやゲーム学習支援等を行い、多世代で交流を深めている。参加者からは、子育てについての悩みや発達障がいなどの相談をされる方も有り、相談機関に繋げるお手伝いもして、感謝される方もあった。感謝されることで、スタッフもやりがいを感じ、活動を続けていく原動力になっている。

#### 参加者・対象者の様子

参加した子どもたちは、食堂や楽しい体験に心躍らせ、お腹も心も満タンにしている。元塾の講師が学習支援を行う、宿題コーナーでは、高校生と一緒に勉強に取り組む姿もみられる。コメ不足の際にはお米の支給に保護者の方が大変喜ばれた。

#### 寄付者(たんぼぼ薬局)へのメッセージ

2年間にわたり支援いただきありがとうございました。この助成金をきっかけに、SNSにチャレンジし、活動のPRや振り返りができるようになりました。

#### 団体連絡先

連絡先：070-2211-8944  
メールアドレス：  
yakomokofukuchan@au.com



助成額

60,000円

総事業額

60,000円

## ② 一般社団法人SEIMA137 (関市)



### 助成事業名 地域でつながるこども食堂事業



#### 事業の目的

就労時間が長い家庭、貧困、ひとり親世帯、家庭や学校で居場所が見つけれられないなど、様々な事情を抱える家庭の子どもが独りきりになる時間を減らすため。安心安全で顔の見える相手がつくったあたたかい食事を地域の方や異年齢の子ども、親以外の大人とつながりをつくり心身ともに満たされて笑顔になれる居場所づくりのため。

#### 事業の内容と成果

①安心安全な食材、旬の食材を使用し温かい食事を提供する。②食事の準備配膳片付けなど子どもたちと一緒に楽しんでもらえる環境をつくり、普段の生活にも活かせるようにする。③学校や家庭とは違うコミュニティをつくることで、子供たちがささいなことでも話せる場所や人との出会いを増やす。④地域住民ともコミュニケーションをとることで、地域全体で子どもを育てる見守る意識をつくる。⑤保護者の悩み相談など、家庭環境の改善。

#### 参加者・対象者の様子

皆と一緒に食事を作ったり、食べたりする機会のない方や、少し遠くからも参加して下さる親子もみえた。お子様が3人いる方など、1人で夕食を作るのが大変なので、こども食堂は助かる、とおっしゃっていた。賑やかに楽しく食べられる、という声も多かった。

#### 寄付者(たんぼぼ薬局)へのメッセージ

食材費の物価がかなり高騰していて、こども食堂を継続するのもかなり大変なので、このような助成をいただけることは本当に助かります。これからも、必要な親子に来ていただけるようがんばりたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

#### 団体連絡先

電話：0575-36-4578  
メール：lionnokakurega137@gmail.com



助成額

60,000円

総事業額

62,007円

### ③ NPO法人スマイルBasket (岐阜市)

#### 助成事業名 「今日の小夜食なあに？」から始まる学習支援事業



#### 事業の目的

学習支援に通ってくる子ども達の「お腹を満たす」ことで、その子ども達に「目の前で調理する」「たくさんの大人が関わる」「地域で育つ」「地域と育つ」「おたがいさまで育ちあう」そんなあったかい地域があることを伝えたい。

#### 事業の内容と成果

【内容】学習支援室「スマイル」(原則毎週火・木：円徳寺内)に通ってくる子ども達に【成果】に上げることに留意しながら「小夜食」を提供した。

#### 【成果】

- ①対象の子どもたちの偏食を防ぐことにつながった。
- ②「気分転換」で、休憩後の「集中力」アップ。
- ③「孤食」でなく「仲間と共に食べる食事の楽しさ」を実感してもらえた。
- ④「温かいものは温かく冷たいとおいしい物は冷やして」は+αになることを知った。
- ⑤地域の大人に「寄り添ってもらっている」ことを実感。



#### 参加者・対象者の様子

「大根嫌いだったけどサラダにしたらおいしいね」「もう一問解かな・・・」「OOちゃんおかわりほしいって」「おばちゃんの愛情感じたよ！」何より子どもたちがやってくると、まず「今日の小夜食何？」と嬉しそうに聴いてくれる。

#### 寄付者(たんぽぽ薬局)へのメッセージ

たんぽぽ薬局という企業の「社会貢献」を子どもたちが理解し「企業も地域を作っているんだ」と感じるきっかけをいただきました。ありがとうございます。

#### 団体連絡先

090-3567-6564  
(担当 原)

助成額

60,000円

総事業額

109,454円

GIFU HACHIDORI FUND





# 助成団体から、ぎふハチドリ基金にいただいた メッセージの一部をご紹介します



些細なことも相談に乗っていただけたので、安心して申請することができました。

細かなご指導をいただき、助成事業に採択された後も、さまざまな情報やアドバイスをいただいて大変感謝しております。

初めての助成申請でした。いろいろな使いやすいメニューが用意されていたり、助成金の支給が速いことなどを知ることができました。



ぎふハチドリ基金のおかげで、やりたかったことを始めることができました。やってみたからこそわかった、理想と現実の差や、私たちの得意分野、求められていることと私たちができることの範囲の重なる部分がよくわかりました。参加者さんに嬉しい変化が見られたことが、とてもうれしかったです。

同じ志を持つ方々とつながる機会をいただけたことに感謝しております。今回の助成を通じて、私たちもさらに子どもたちの未来を守るために尽力してまいります。

ぎふハチドリ基金の活動を通じて、参加団体や助成をしてくださっている方々と、子どもたちがつながれる機会が増えると嬉しいです。

他の団体の方と交流する機会があることもありがたいです。大変勉強になります。

ぎふハチドリ基金の助成プログラムは、私たちのような任意団体でも申請することができる貴重なひとつなので、とても有難さを実感しています。人件費や物品購入費に充てられることもありたく、さらに申請や運営のさまざまな相談にも丁寧にご指導いただけて、何もわからなくても、交流会や勉強会など、さまざまな機会をいただける数少ないものだと思います。これからもずっと応援させていただきたいと思っています。

活動を継続するために、ぎふハチドリ基金を活用させていただけたことは、とても有難かったです。継続したことで地域での認知度も上がり、新たな参加者も増えてきました。また、孤立・孤独対策の視点で成果を記録し、具体化できたことで、今後行政へ声を上げていく根拠を持てたことも意味がありました。



善意の方々の温かい支援を心から感謝いたします。こうした支援によって活動できることが嬉しく思います。

まず始めてみる、チャレンジしてみる、ということがしやすい助成金でありたいです。ハチドリカフェは、同じグループの人とのつながりが興味深く、楽しかったです。



受益者負担が無い「居場所」運営を、他の団体さんがどのように継続しているか知りたいです。

さまざまな社会の変化の中、挫折しうにもなりますが、こうしたプログラムに出会えたことは、次への一歩につながりました。また多くの方に還元できますように祈っています。

たくさんのアドバイスをいただき、ありがとうございました。私たちの活動を通して、助成金に込められた思いを参加者の方々にお届けすることができたこと、いろいろな方とつながることができたこと、活動を始めて本当によかったと思っています。助成金を必要とされる団体への支援を、これからもお願いします。



## あなたのあたたかいご寄付により、この仕組みを支えてください

～ぎふハチドリ基金への寄付には、いろいろな方法があります～



寄付金決済システム(コングラント)



ソフトバンク「つながる募金」



東海ろうきんNPO寄付システム

詳しくは事務局に  
お問い合わせ  
ください。

- ・リーフレット内の振込用紙を利用して振り込む
- ・羽島市ふるさと納税 など



# みんなのハチドリ

minnano hachidori

## あなたの思いを届ける 寄付支援ポータルサイト

「みんなのハチドリ」は、岐阜県内の子ども、若者、子育て家庭の支援に取り組む団体とみなさんをつなぐ窓口です。  
地域貢献をお考えの企業、個人の皆さまはぜひご活用ください。

### みんなのハチドリのポイント

- 子ども・若者・子育て支援団体の詳細情報を一覧できる
- 寄付やボランティアを希望する支援団体に直接アクセス
- 岐阜県への地域貢献、新しいつながりの創出
- 10年以上の実績がある、ぎふハチドリ基金が運営
- 厳しい基準を満たした支援団体のみをご紹介します



選んで直接支援できる

#### 企業・個人

- ・社会貢献活動に興味がある
- ・SDGsに取り組みたい
- ・ボランティア活動がしたい
- ・子ども、若者、子育て家庭の応援がしたい

### みんなのハチドリ

寄付支援ポータルサイト

活動を知ってもらえる

#### 市民活動団体

- ・活動を知ってもらえて、応援してもらえる
- ・活動の継続につながる



### 支援する団体を探して寄付ができます。

興味・関心をお持ちになった団体の詳しい情報をご覧ください、各団体まで温かいご支援をいただきますようお願いいたします。



↑ 目的別やフリーワードで探すこともできます。

アクセスはこちら



<https://minnano-hachidori.jp/>

## GIFU HACHIDORI FUND



ご寄付をいただいた皆さんの思いが  
助成団体の活動となって、子ども・若者・子育て家庭の  
もとに届いた様子を、ぜひお読みください。

### 認定特定非営利活動法人 ぎふハチドリ基金

〒500-8384 岐阜市藪田南 5-14-12  
岐阜県シンクタンク庁舎 3F ぎふ NPO センター内  
TEL 090-8736-9739 FAX 058-275-9738  
Mail [hachidori@gifunpo-fund.org](mailto:hachidori@gifunpo-fund.org)  
HP <https://gifunpo-fund.org/>

